

※設問の順序、「その他」の内容記述のための()追加、(1つに○)等の選択肢についての説明については国の示す調査票と異なりますが、

集計上特に問題はないと思われますので、ここに記載していません。

※調査票の赤字が10次計画からの変更・追加箇所です。

種別→必＝国設定の必須質問、オ＝国設定のオプション質問、独＝芦屋市独自質問

表	設問・内容	種別	変更・追加・確認	変更・追加理由等
表紙	調査票タイトル(赤字部分)		変更	計画名称を第11次に変更。
表紙	市 あいさつ文 中程の個人情報についての文言		削除	個人情報の取り扱いについての文言は次頁で記載しているため削除。
表紙	市 あいさつ文 調査実施月		変更	調査票送付時期に合わせて令和8年1月に変更。
表紙	記入後の投函をお願いする一文		追加	第10次調査票表紙に記載がなかったため、郵送での返送方法をWeb回答方法の前に追加。
表紙	Webの回答方法の説明		追加	第10次では記載されていなかったWebでの回答方法を追加。□内にはQRコードを記載。
表紙の裏	記入に際してのお願い		追加	在宅介護実態調査に倣って、第10次に記載のなかった「記入に関してのお願い」を追加。 記入の基準日は令和8年1月1日とする。
表紙の裏	個人情報の取り扱いについて		追加	認定データと突合するため「個人情報の取り扱いについて」を追加。文言は国の例示参照。
表紙の裏	問い合わせ先		変更	前回は表紙にあった問合先を移動。問合先の部署名と電話番号をフリーダイヤルから変更。
	基礎情報(性別、年齢、町名、要介護認定状況)		削除	標本名簿と突合するため削除。
問2 (7)	昨年と比べ外出の回数が減っていると答えた人へ、その理由を問う質問	独	追加	「とても減っている」「減っている」と答えた人に、「外出が減った理由」を問う設問を追加。
問2 (8)	路線バスとタクシーの利用頻度	独	追加	路線バスについて路線名、利用理由、利用目的を問う元の設問を削除し、路線バスとタクシーの利用程度を問う本設問を追加。
	新型コロナに関する5設問	独	削除	全問削除。
問3 (3)	概ね1日に三食食べるかどうか	独	追加	設問を追加。家族構成と1日の食事回数をクロス集計するため、細かく選択肢を設定。
問3 (7)	歯磨きを毎日するかどうか	オ	追加	健康上、口腔ケアは重要であり、設問を追加。設問内容は国オプションに従う。
問3 (8)	入れ歯利用の人へ、毎日入れ歯の手入れをしているかどうか	オ	追加	入れ歯を利用していると答えた人へ、設問を追加。設問内容は国オプションに従う。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 新旧表

資料 6 - 2

表	設問・内容	種別	変更・追加・確認	変更・追加理由等
問3 (9)	歯の定期健診や歯科医への通院をしているかどうか	独	追加	口腔ケアの方法を知るために、設問を追加。
問4	「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」「今日が何月何日かわからない時がありますか」「友人の家を訪ねていますか」「家族や友人の相談にのっていますか」「病人を見舞うことができますか」「若い人に自分から話しかけることがありますか」	オ	削除	左6つの国オプション設問を削除。
問4 (11)	・スマートフォン・タブレットから公的サービス等の情報を入手しているかどうか ・入手していない人へ、スマホやタブレットの使い方(情報の入手方法)を教えてください	独 独	変更 追加	・ スマホとタブレットについての設問を、所有を問う設問から本設問に変更。 ・ スマホやタブレットで公的情報を入手していない人に、使い方を教えてくださいかどうかの質問を追加。
	健康についての記事や番組を参考に自宅で取り組んでいること	独	削除	削除。
問4 (12) (13)	(12)趣味はありますか。(13)生きがいがありますか	オ オ	変更	「日常生活の中での楽しみは何ですか」という設問を、国オプションの2設問に変更。 (13)「生きがいがありますか」の設問は、ニュアンスが固く重いため、変更。「見える化」入力に差しさわりのないよう、「生きがい(あるいは、日々の楽しみなど)がありますか」と()書きで補足的に「あるいは、日々の楽しみなど」を入れる。
問4 (14)	・現在の就労状態はどれですか(○はいくつでも) ・常勤、非常勤、自営業、求職中を選択した人へ、何歳まで働きたいか	オ 独	変更 追加	「収入のある仕事をしていますか」の設問を、国オプション設問「現在の就労状態はどれですか」に変更。 ・ 常勤、非常勤、自営業、求職中を選んだ人へ、高齢者の就労に関する希望を把握するため、本設問を追加。
問4 (15)	どんな仕事を希望するか	独自	追加	高齢者の就労に関する希望を把握するため、本設問を追加。
問4 (16)	これから取り組んでみたいことや、挑戦してみたいことを教えてください	独	変更	元の「働いていない人に、今後働く意向があるか」を問う設問を変更。
	働き方で重視する条件を問う設問	独	削除	削除。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 新旧表

資料 6 - 2

表	設問・内容	種別	変更・追加・確認	変更・追加理由等
問4 (17)	シルバー人材センターに登録して活動したいか	独	変更	質問を「活動する希望はありますか」を、「活動してみたいと思いますか」に変更。
問4 (18)	高齢者向けイベント・サービスの入手方法	独	変更	「インターネット」の選択肢を「スマートフォンやタブレット」に変更。選択の数を「いくつでも」としていたが、「主なもの3つまで」に変更。 選択肢の中の「ケアマネジャー・ホームヘルパー」を「ケアマネジャー・介護サービス事業所等」に、また「公的施設（保健福祉センターなど）」を「公的施設（市役所・保健福祉センターなど）」に変更し、独立して立てていた選択肢「市役所」を削除。
問5 (1)	地域活動の会やグループへの参加頻度	必	変更	国の必須設問に合わせて選択肢を変更（元は介護予防の場と通いの場に分かれていた選択肢を介護予防の場のみの選択肢に変更）。
問5 (2)	今後参加したい活動は何か	独	変更	・質問を「現在参加していない活動のうち今後参加したい活動は何ですか」から「今後新たに参加してみたい活動は何ですか」と変更し、選択数を「主なもの3つまで」とする。 ・選択肢を上問5（1）の選択肢と合わせて表記。
問5 (3)	地域でお手伝いしてみたいことは何か	独	変更	・質問を「地域でお手伝いできることは何ですか」から「地域でお手伝いしてみたいことは何ですか」に変更。
問5 (4)	地域住民有志の健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加したいか、の設問で「参加したくない」と答えた人へ。理由を問う設問	独	変更	参加したい（参加している）理由から、「参加したくない」理由を問う設問に変更。
	地域住民有志の健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加したいか、の設問で「参加したい」と答えた人へ。理由を問う設問	独	削除	削除。
	普段から交流や付き合いのある人はどなたか	独	削除	削除。
	今後新たに交流や関わりを持ちたいと思う人はどなたか	独	削除	削除。
問6 (5)	家族や知人以外で何かの時に相談する相手	オ	変更	国オプション設問のため、選択肢を国の設問に合わせて変更。ただし、選択肢5に記載されていた「役場」は芦屋市にはないため削除。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 新旧表

資料 6 - 2

表	設問・内容	種別	変更・追加・確認	変更・追加理由等
問6 (6)	「高齢者支援センター」を知っているかどうか	独	変更	・質問が「お住まいを担当する」とあったのを、建物の担当という誤解が出ないように「お住まいのエリアを担当する」に変更。 ・「知っている」と答えた人への設問で「ご本人やご家族は、高齢者生活支援センターを利用したことがありますか」の「ご本人」を、他の設問と揃えて「あなた」に変更。
問7 (6)	現在治療中、または後遺症のある病気があるかどうか	必	変更	国設定の必須設問のため、選択肢を国設問に揃えて変更。
問7	かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師を決めているかどうか	独	削除	削除。
問7	この1年または2年の間に定期健診・検診を受けたかどうかの設問	独	削除	削除。
問7 (7)	介護予防のために取り組みたいこと	独	変更	選択数を「いくつでも」から「主なもの3つまで」に変更。 ・選択肢の「認知症の予防」を「認知機能を維持するためのトレーニング」に変更。
問8	認知症になる(患う)と思うか	独	削除	削除。
問8 (3)(4)	認知症施策に関する2設問	独 独	追加	認知症に対する現在のイメージを問う設問と、「認知症カフェ」の認知度と利用についての設問を追加。 認知症のイメージを問う設問の選択肢は内閣府調査を参照。欄外に出典を明記。
問8 (5)	認知機能を維持するために取り組みたい(取り組んでいる)こと	独	変更	選択肢を追加。また元の設問は「認知症予防の方法として、重要なこと」を問うていたが、市民が重要性を判断する設問から、今後取り組みたい方法を問う設問に変更。 また「認知症予防」という言葉を使わない質問に変更。
問8	認知症の人への支援に必要なこと	独	削除	削除。
問8 (6)	認知症セルフチェックをしたことがあるかを問う設問。 「したことがある」「定期的にしている」と回答した人へ、認知症セルフチェックをした後の本人の行動を問う設問	独	変更	・「セルフチェックをしたことがあるか」を問う質問への選択肢の「したことがない」を、「知っているが、したことがない」と「知らなくて、したことがない」に変更。 ・セルフチェック後の行動についての質問に選択する数の明記がなかったため「主なもの1つに○」を追記。また、選択肢「何もしなかった」を「結果に問題がなかったため、何もしなかった」に変更。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 新旧表

資料 6 - 2

表	設問・内容	種別	変更・追加・確認	変更・追加理由等
問8 (7)	認知症になったら(あるいは認知症であると診断されている場合)、不安なことを問う設問	独	追加	認知症施策検討のための設問。「認知症の人への支援」内容を問う設問を本問に替える。選択肢は内閣府の調査を参照。欄外に出典を明記。
問9(1) ～(3)	終活についての4設問	独	追加	終活についての施策を検討するため、設問を追加。
問10	災害時や緊急時の避難などについて	独	変更	元は「災害時や緊急時の対応などについて」という設問のくくりを、「災害時や緊急時の避難などについて」に変更。設問内容を「避難」に絞る。
問10 (1)	一人で非難することができるか	独	追加	「誰かの援助がないと避難できない」「誰かの声かけがあれば、自分で避難できる」と答えた人へ、「相談している人がいるか」を問う設問を追加。
問10 (2)	災害時の避難について、事前に必要な備えは何か	独	変更	元は「ご家庭では、緊急時や災害時に備えていること」「災害が起こった場合、どのようなことが不安ですか」という設問を、「避難」を対象にした本設問に変更。
問11	身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活が続けられるか	独	削除	削除。
問11 (1)	介護が必要になったときに、どのような場所で暮らしたいか	独	変更	・質問を「どのような場所で介護を受けたいですか」から、「今後、介護が必要になったときに、どのような場所で暮らしたいですか」に変更。 ・選択数について「最も近いもの1つ」から「主なもの1つ」に変更。 ・選択肢中の介護保険施設として「介護療養型医療施設」の記載があったが、2024年3月末で廃止になっているので削除。また、「サービス付き高齢者向け住宅」を「高齢者専用住宅」に変更。
問11 (2)、 (3)	住み慣れた地域で暮らし続けるために、生活介助、介護や医療について必要な施設やサービスを問う設問と、それら以外に「あると助かる支援」を問う質問	独 独	変更	元は「高齢者への支援には、何が必要だと思いますか」と、ニーズを全般的に問うていたが、選択肢が非常に多く、わかりづらいため、2つの設問に分けて設定。 ・介護保険施設、有料老人ホーム、サ高住などは設問・問11(1)で聞いているため、ここでは基本的に住み慣れた地域で在宅で暮らすことを前提として質問。 ・(2)では訪問介護・訪問医療、通所介護などについて質問、(3)では、介護保険事業以外のサービス等を含めて広く暮らしの支援について選択肢を設定。